

## 普及現地情報



発信年月日：令和4年（2022年）2月1日  
所属名：甲賀農産普及課  
番号：C21033  
部門分類：150（野菜）  
発信者名：井上

## キュウリ栽培におけるICTバルブの活用

甲賀管内では、水口施設園芸部会を中心に約1haの抑制キュウリ栽培が行われています。近年の猛暑により夏期の定植時ハウス内の温度が高く推移するようになり、高温障害による減収対策としてICTバルブを利用した自動葉水の取組を実施しました。

抑制キュウリ栽培では定植直後はハウス内の温度が非常に高くなることから、高温障害を回避するため、遮光資材やサイド・天窗の開閉、葉水（葉へのミスト散水）などの対策を行っていました。

そこで今回、葉水の自動化を図るためICTバルブ（温度による開閉設定ができる電磁弁）の導入や、農家間でデータ共有できる温湿度センサーの設置を部会員に推進してきました。これらの技術導入により取り組まれた3農家では導入前に比べ収量が約30%向上することが出来ました。

ICTバルブを導入した新規就農者からは、「今回設置した温湿度センサーにより、ベテラン農家の温度管理がリアルタイムで見られICTバルブを効率的に活用するのにとても参考になった」との意見もあり、導入した3戸のすべての農家が次作も引き続き活用する意向を示されました。

今後も、高温対策等各生産者の生育状況に合わせた管理が出来るよう更に支援を行っていきます。



ICTバルブの活用と温度管理について説明